

令和4年9月20日、西牧大使は、カチルウア・コマス州知事、コマス州ウイントフック・ルーラル評議員、保健・社会サービス省コマス州局長及び当地 UNFPA 代表代理とともに、令和3年度補正予算案件「誰も取り残さない：ナミビアにおける避難民と新型コロナウイルスの拡大に関連する緊急事態における保健の不足の補填及びジェンダーに基づく暴力への対処」（供与限度額 462,962 米ドル）に係る事業地のひとつであるコマス州の引渡式に出席してスピーチを行い、支援キットを多数の裨益者に手渡しました。

本案件の事業目的は、新型コロナ禍を受け、性・ジェンダーに基づく暴力（SGBV）や、基礎的ニーズ・保健サービスの不足の影響を受けやすい、アンゴラからの避難民を含むぜい弱な女性・子供、障害者や他の脆弱な人々の保護強化を目指すものです。式典当日は地域のニーズに沿って、コマス地域の障害を持つ少女を含む 375 人の妊婦、授乳中の女性、思春期の少女に「支援キット」を配布しました。受益者の選択は、保健教育省と協議して行われ、最も必要としている人々が同キットを確実に受け取れるようにしました。同キットには、おむつ、洗剤、シテング（産着に使える腰巻き）、入浴用石鹸、歯ブラシ、歯磨き粉などの基本的な衛生用品が入っています。



裨益者に支援キットを手渡す西牧大使



受益者の妊婦と授乳中の女性



支援キットの中身（標準セット）